

(別添)

令和4年度 普及状況評価取りまとめ表

【調査対象者 54名、回答者 40名、回答率 74%】

番号	課題名	成果発表年度	評価(人)					①+②の割合	回答者/対象者	対応方向
			活用している ①	加工して活用 ②	検討中である ③	活用していない ④	その他 ⑤			
1	農業法人で働く若手就業者の育成・定着のためのポイント	R1	3		1			75%	4/4	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
2	酒米「山田錦」の特性を発揮する安定栽培技術	R1	5	1				100%	6/7	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
3	高温耐性水稻品種「恋の予感」の安定栽培体系	R1	3	1		2		67%	6/7	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
4	省力栽培が可能な新早生品種「はなっこり-E2」の育成	R1	4					100%	4/7	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
5	花茎も収穫できる畑ワサビの超促成栽培(第2報)	R1	6					100%	6/7	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
6	カンキツ類に発生する日焼け果の発生要因と軽減対策	R1	3					100%	3/4	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
7	気象変動に対応した「せとみ」および高糖系ウンシュウミカンの連年安定生産技術	R1	3					100%	3/4	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
8	バヒアグラス(Paspalum notatum)草地へのイタリアンライグラス(Lolium multiflorum)追播種による省力的二毛作体系の検討	R1	4	1	1	1	1	63%	8/14	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。